

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 32, No. 9 ACTA UROLOGICA JAPONICA September 1986

泌尿器科紀要

第32巻 第9号 1986年9月

三重県下の尿路結石症の発生に関わる疫学的研究	
1. 1985年における現状	川村 寿一・ほか 1225
セルロースアセテート膜 (FB-T) の使用経験	
—再生セルロース膜との生体適合性の比較について—	朴 勺・ほか 1231
尿中 NAG および γ -GTP 活性からみた CDDP 腎障害:	
Fosfomycin 併用投与の効果について	吉田謙一郎・ほか 1237
カルシウム含有尿路結石の成因に関する実験的ならびに臨床的研究:	
(II) 再発性, 多発性カルシウム含有結石症のサイアザイドとアロ	
プリノールの再発予防効果の検討	岡田 裕作・ほか 1247
前立腺癌における長期生存例の分析	上田 公介・ほか 1259
市立堺病院での睾丸腫瘍の治療経験 (睾丸腫瘍59例の臨床統計)	瀬川 利信・ほか 1267
各種陰嚢内疾患の Testicular scanning による診断	中島 登・ほか 1275
自然破裂した腎平滑筋肉腫の1例	吉川 元祥・ほか 1282
化膿性尿管管囊胞の1例—本邦報告例の検討—	小谷 俊一・ほか 1288
成人に発症した Neuroblastoma の1例	江藤 弘・ほか 1294
高齢者にみられた Pure choriocarcinoma of the testis の1例	郷司 和男・ほか 1298
陰茎癌と前立腺癌の重複症例	沼 秀親・ほか 1303
下垂体腺腫に伴った神経因性膀胱の2例	黒川 順二・ほか 1307
男性不妊症に対するカリクレインの臨床評価	高崎 登・ほか 1313
京都大学医学部附属病院泌尿器科外来患者の臨床統計	
(1983年, 1984年)	吉田 修・ほか 1319
京都大学医学部附属病院泌尿器科の入院患者臨床統計	
(1983年1月~1984年12月)	吉田 修・ほか 1327
ラット実験的尿酸カルシウム結石症におけるピルビン酸塩と	
CG-120 の結石形成抑制作用 (英文)	小川 由英・ほか 1341
表在性膀胱腫瘍に対する Etretnate の再発防止効果	
—封筒法による比較試験—	吉田 修・ほか 1349
共同研究によるエピルビシン (Epirubicin EPI) の	
膀胱癌, 腎盂・尿管癌に対する第2相臨床試験成績	
—全身投与療法と膀胱腔内注入療法—	新島 端夫・ほか 1359
経尿道的前立腺摘除術の術後出血に対するトロンビン局所灌流療法	光林 茂・ほか 1371
複雑性尿路感染症に対する HAPA-B の臨床成績	上領 頼啓・ほか 1379
Imipenem/Cilastatin sodium (MK-0787/MK-0791) の	
泌尿器科領域における長期投与対象の選択と治療成績の検討	鈴木 恵三・ほか 1387

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文又は英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。(例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP)
 - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内のKey words、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、
 編集委員：石神 襄次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
 園田 孝夫 友吉 唯夫 吉田 修(主幹)
 - (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。(例：山田^{1,3,7)}、田中ら^{1,3-10)}によると) 雑誌の場合—著者名(全員)：題名。雑誌名 巻：最初頁～最終頁、発行年 単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。